

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第135号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年4月20日 14時25分ごろ	
発生場所	岡山県宇野港田井地区田井B岸壁付近 (概位 北緯34°30.7′ 東経133°57.7′)	
事故等調査の経過	平成21年5月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第二はる丸、7,751トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 140317、春山海運株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長 二級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船尾外板に凹損及びフレームの曲損 岸壁車止め曲損	
事故等の経過	<p>本船は、宇野港において、船首約5.82m、船尾約6.64m喫水で、同港田井B岸壁にタグボートを使用せず、左舷着けで着岸しようとする際、右舷から受けていた7～8m/sの横風が着岸寸前に突然10m/sを超える強風となったため、左舷船尾が風下側の岸壁に圧流され、推進器翼をニュートラルとし、舵中央としてスターンスラストを使用し、船尾を岸壁から離そうとしたが制御できず、平成21年4月20日14時25分ごろ、左舷船尾外板が同岸壁に衝突した。着岸後も約19m/sの強風が吹いた。</p>	
気象・海象	<p>気象：風向 東南東、風力 5</p> <p>事故現場の南南西約3,000mに位置する玉野地域気象観測所の気象観測結果によれば、事故当日の14時20分及び40分の最大瞬間の風向・風速は、東南東10.3m/s、東南東14.8m/sであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、着岸寸前に10m/sを超える横風を受けたため、スターンスラストを使用しても圧流を防止できなかったものと考えられる。</p> <p>船長は、沖合から岸壁に向かって強風が吹く状況下、着岸する際、操船の補助として引船を使用していれば、圧流を防止できた可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が宇野港において右舷から横風を受ける状況下、左舷着けで着岸する際、10m/sを超える強風を受けたため、スターンスラストを使用しても圧流を防止できず、左舷船尾が風下側の岸壁に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	